

山行記録

湖南 堂山

年月日	2023年9月25日(月)
天気	晴れ
集合場所・時間	JR 芦屋 8時10分
参加人数	12名
歩行時間・距離	3時間30分 6.3km
費用	3480円

コースタイム

登山口 BS 10:10 (近くの木陰で体操) 10:15~10:45 迎不動 10:55~11:20 鎧ダム 11:30~12:30 堂山 (384m) 昼食 13:00~14:10 天神川渡渉~14:20 登山口 BS

感想

3Gは遠方での山行が多く今日も参加者が少ないかと思われたが、いつものJR月曜事故遅延も何とか出発時には収まって、男女6名ずつ合計12名が石山駅に集合。天気も良く少し涼しくなってきたので皆さんそろそろ歩かないと体調が...というためかも。

ほぼ貸し切り状態の帝産バスに揺られて20分でアルプス登山口に到着。びっくりしたことは巨大なアーチ型の建造物が近くで造られていて、何かと聞くと京滋バイパスを新名神に繋げる工事でその橋梁とか。その為か結構車の出入りが多かった。

登山口バス停横の川沿いを少し進んだ日陰で体操をしてさあ出発。アーチ橋の下を通り舗装された林道を半時間ほど歩いて迎不動に到着。ここからが本番！

さっそくいくつか石が置かれている天神川を渡渉し登りのスタート。川沿いの道を滑らないように注意しながらアップダウンと渡渉を各々4-5回繰り返し、ちょっと息が切れてきたところで鎧堰堤に到着。このダムは130年ほど前にオランダ人技術者の指導の下、地元住民の努力で石組みの砂防堰堤が作られたとの事。その技術には驚かされる。

少し休んだあと、堰堤の上の貯水池が100年を経て砂に埋め尽くされた「阿弥陀が原」を通りシダやコケの川沿いの道を登っていくと、開けた所に出て琵琶湖が見えた！でもここは堂山ではなくピークを3つほど越した先らしい。見晴らしの良い岩場・砂場の尾根はザレ場が多くロープも所々あるが、奇岩・巨岩の間を歩くのは結構スリリングで、緊張して上ったり下りたしてとうとう堂山頂上に到着。眼下に琵琶湖や比叡山、大津・石山の街並みを見ながらの昼食と記念撮影。ここまで来た甲斐があった！

下りは岩々の間をすり抜けて一直線。川沿いを岩々の間を通って渡渉もしながら約1時間で天神川に下りてきて林道へ。皆さん無事で何よりでした。低い山ですが変化に富んだとても楽しいコースでした。参加されなかった方も是非一度トライしてください。